

# その名前は明治天皇より賜った 3本の松に由来する

江戸時代につくられたこの庭園は  
肴町の裏通りにあり  
訪れた人たちの心を癒します



盛岡藩の勘定奉行を務め、維新後は機織業の先駆者として盛岡の歴史に名を残す菊池金吾。  
現在、盛岡市立杜陵老人福祉センターが立つ場所にその私邸がありました。

明治9年と明治14年の明治天皇東北御巡業のうちに宿舎とされた際、庭にあった松を陛下が気に入られ「見馴れの松」と名づけられました。しかし、明治17年の大火でこの松が焼けたため、後に陛下より3本の松を賜り、これにより「賜松園（ししょうえん）」と呼ばれるようになりました。

盛岡市の保護庭園のひとつであるこの由緒ある庭園は、現在その見事な景観を一般に公開しております。街中に残る日本庭園に足を運んでみてはいかがでしょうか。

